

第四次川越市生涯学習基本計画 計画の指標【総括】

基本目標	指標	単位	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	最終評価
			(R1年度)	(R3年度)	(R4年度)	(R5年度)	(R6年度)	(R7年度)	(R7年度)	
1 多様な学習機会の充実	川越大学間連携講座の受講者満足度 (文化芸術振興課)	%	89.3	85.0	66.3	93.3	86.6	87.6	93.0	B
	基本目標1「多様な学習機会の充実」の指標「川越大学間連携講座の受講者満足度」は、安定した実績値を維持しました。 令和4年度がコロナ禍の影響等により大幅に数値が下がった等、令和5年度を除き、目標値を達成していませんが、計画期間を平均して目標値の9割を超える実績値であったことから最終評価は「B」としました。									
基本目標	指標	単位	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	最終評価
			(R1年度)	(R3年度)	(R4年度)	(R5年度)	(R6年度)	(R7年度)	(R7年度)	
2 誰もが取り組める生涯学習の実現	川越市総合福祉センター実施講座等延べ利用者数 (障害者福祉課)	人	9,940	2,063	4,509	6,747	6,011	14,471	10,100	A
	基本目標2「誰もが取り組める生涯学習の実現」の指標、「川越市総合福祉センター実施講座等延べ利用者数」は、令和3年度はコロナ禍で大幅に落ち込んだものの、以降徐々に回復し令和7年度は目標値を達成できたため最終評価は「A」としました。									
基本目標	指標	単位	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	最終評価
			(R1年度)	(R3年度)	(R4年度)	(R5年度)	(R6年度)	(R7年度)	(R7年度)	
3 成果を生かせる環境整備	市民講座開催数 (文化芸術振興課)	件	47	26	25	27	19	15	55	D
	基本目標3「成果を生かせる環境整備」の指標「市民講座開催数」は、令和3年度はコロナ禍で大幅に落ち込んだ後、回復に至らず減少傾向が続いていることから、最終評価は「D」としました。 本事業は、市民が講座主宰者として企画し、市民が受講するものですが、人気のある講座に応募が集中する傾向があるため、主宰者や受講者の募集方法を含め事業内容に課題が残るものとなりました。									
基本目標	指標	単位	基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	最終評価
			(R1年度)	(R3年度)	(R4年度)	(R5年度)	(R6年度)	(R7年度)	(R7年度)	
4 身近な学習施設の整備・充実	市民活動・生涯学習施設の稼働率 (文化芸術振興課)	%	89.4	87.1	88.1	90.7	90.4	90.8	93.0	B
	基本目標4「身近な学習施設の整備・充実」の指標、「市民活動・生涯学習施設の稼働率」について、令和3年度はコロナ禍の影響を受けましたが、同感染症が五類感染症となった令和5年度以降は、市民活動・生涯学習施設(ウェスタ川越2階)の認知度も上がってきたこともあり、毎年9割以上の稼働率を上げることができました。目標値には届かなかったものの、高い数値をキープしたことから、総合的に判断して最終評価は「B」としました。									

評価	
A	目標値に対して達成度が非常に高い(目標値を達成)
B	目標値に対し達成度が高い(達成状況が目標値の60%以上)
C	目標値に対し達成度がやや低い(達成状況が目標値の40%以上60%未満)
D	目標値に対し達成度が低い(当該年度の事業が40%未満)
E	事業終了

【総括】(第四次川越市生涯学習基本計画を振りかえって・第五次川越市生涯学習基本計画に向けて)

本市は、平成11年度から「川越市生涯学習基本構想・基本計画」を策定、平成28年度からは「第三次川越市生涯学習基本計画」、続いて令和3年からは「第四次川越市生涯学習基本計画」により「市民誰もが学び、取り組み、成果を生かせる生涯学習」を基本理念とし、生涯学習の推進に取り組んできました。

計画期間前半には新型コロナウィルス感染症の影響があったものの、計画全体を通して見ると、市内大学及び坂戸市の日本栄養大学との連携協定に基づき開催する「川越大学間連携講座」は市民の一定の満足度のもと開催することができました。また、「川越市総合福祉センター実施講座」等の延べ利用者数は、最終的にはコロナ禍前を超える勢いで利用者が増加しました。一方、市民がこれまで培ってきた知識や技術を社会提供する「市民講座」は、主宰者の企画内容が受講者の希望内容に合致しないこと、近年のICT(情報通信技術)の進展により、対面学習だけではなく、スマートフォン等で学べるといった大きな環境変化により、講座開催数がコロナ禍前を大幅に下回るなど課題が出てまいりました。

なお、市民活動・生涯学習施設(ウェスタ川越2階)に関しては、計画年度中に設置後10年が経過し、川越市民や周辺市の利用者への周知・PRが図られた結果、高い利用率を維持できるようになりました。

今後に向けては、令和8年度を始期とする「第五次川越市生涯学習基本計画」において、「市民誰もが学び、取り組み、成果を生かせる生涯学習」を第四次計画に引き続き基本理念とし、前計画の成果や課題を解決すべく、前計画をブラッシュアップする形で、引き続き市民誰もが生涯を通じて学習でき、その成果を生かす事ができるよう、さらなる生涯学習の推進に取り組んでいくことといたします。